

大阪大学大学院人文学研究科附属 複言語・複文化共存社会研究センター  
(Diversity and Community Engagement Research Center)  
ロゴデザイン募集要項

2023年6月22日  
複言語・複文化共存社会研究センター

大阪大学大学院人文学研究科では2023年4月1日に「複言語・複文化共存社会研究センター」(略称:阪大ふくふくセンター/DERC、以下「センター」とする)を設立しました。本センターの活動を広くアピールでき、学生や関係者に親しまれるロゴデザインを募集します。皆様からのご応募をお待ちしております。

### 1. 募集概要

センターの「外国にルーツを持つ子どもたちの学びを支える」というイメージを分かりやすく伝えることができ、誰もが親しみを感じるようなデザインを募集します。

### 2. 応募資格

- ・大阪大学大学院人文学研究科および大阪大学外国語学部の学生・卒業生・教職員
- ・大阪大学大学院言語文化研究科の学生・卒業生・教職員
- ・旧大阪外国語大学(含 大学院)の卒業生・教職員
- ・大阪大学日本語日本文化教育センターの学生・教職員
- ・大阪大学国際教育交流センターの学生・教職員
- ・箕面キャンパス構成員
- ・大阪大学外国語図書館の職員

国籍、年齢、デザインの経験等は問いません。個人でもグループでもご応募いただけます。

### 3. 応募条件

- ・応募者自身が作成した、国内外で未発表のもの。
- ・平面作品であること。
- ・A4サイズに収まる範囲内で作成してください。
- ・描画ソフトを用いて作成したもので、手書き作品でも可能です。
- ・デジタルデータの場合、イラストレーター(箕面キャンパス4階の情報教室(クリエイティブワークショップ)で利用可)等で作成し、AI形式で提出していただくのが望ましいですが、パワーポイント等その他のソフトで作成されたものでも構いません。その他の形式の場合、1 デザインにつき5MB以内、解像度は300dpi以上、JPEG、GIF、PNG(横幅3,000ピクセル目安)のいずれかの形式としてください。
- ・国内のみならず、国外への発信にも適したデザインにしてください。
- ・ロゴデザインに「複言語・複文化共存社会研究センター」、「阪大ふくふくセンター」、「DERC」といった、センターの正式名称や略称の文字を含めるかどうかは任意とします。
- ・小さいサイズで使用することも想定されるため、2cm四方程度の大きさでも視認できるデザインにしてください。
- ・カラー(色数・配色は自由)と白黒の2バージョンを提出してください。
- ・お一人または一グループ何点でもご応募いただけますが、応募用紙1枚につき1点とします。

#### 4. 募集期間

2023年6月23日(金)～9月15日(金)(15時必着)

#### 5. 提出方法

応募用紙に必要事項をご記入の上、以下のいずれかの方法でご提出ください。

##### ①電子メールの場合

デザインのデジタルデータと応募用紙(PDFファイル)を添付ファイルにて送付してください。  
件名には「ロゴデザイン応募」と明記してください。  
メールの容量が30MBを超える場合は事前にご連絡ください。

##### ②郵送の場合

応募用紙はA4サイズで印刷し、作品は折り曲げずに封筒に入れてください。  
封筒の宛名面に「ロゴデザイン応募」と明記してください。

##### ③持参の場合

応募用紙はA4サイズで印刷し、作品は折り曲げずに封筒に入れてください。  
センターの受付日時である、月・水・金の10:00～15:00に  
箕面キャンパス2階南西角 複言語・複文化共存社会研究センター事務室へご持参ください。

#### 6. 提出先

複言語・複文化共存社会研究センター 教育・研究部門  
〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10  
derc-ed@derc.hmt.osaka-u.ac.jp

#### 7. 審査方法

センターに所属する教職員による審査を経て、採用作品を決定します。

以下の各項目に該当するものは審査の対象外とします。

- ・公序良俗に反するもの。
- ・法令に違反する、または、違反するおそれがあるもの。
- ・政治的・宗教的・商業的メッセージを含むもの。
- ・反社会的な要素や誹謗中傷を含むもの。
- ・第三者の著作権、商標権、肖像権等の権利を侵害するおそれがあるもの。
- ・既に他のロゴデザインとして採用されているもの、または、採用されたものに類似しているもの。

また、採用後であっても、以上の条件に反していることが判明した場合、採用を無効とします。これらに伴い発生するトラブルや損害については、センターでは責任を負いかねます。

#### 8. 結果発表

10月中旬に、採用された作品の応募者に通知するとともに、センターのウェブサイトにて発表します。審査の都合上、発表時期が変更される可能性もあります。

#### 9. 賞品等

賞状を授与するとともに、大阪外国語大学100周年記念グッズを差し上げます。

## 10. 著作権

- ・採用された作品に係る諸権利および著作権に関する全ての権利はセンターに帰属するものとし、応募者はセンターおよびその指定する者に対し、採用された作品に関する著作権者人格権その他の権利を行使しないものとします。
- ・採用された作品が手書き作品の場合、採用後にセンターがデジタルデータにいたします。
- ・ロゴデザインのフォーマットは変更をお願いする場合があります。また、必要に応じて、デザイン・色・大きさなど、採用された作品の一部を修正・加工する場合があります。修正・加工等について同意が得られない場合、採用後であっても、採用を無効とします。
- ・採用された作品についてのガイドラインを作成し、センターのウェブサイト、印刷物、動画、グッズ等、媒体や形態を問わず、関連するものに広く使用いたします。
- ・採用された作品の作成者は、センターが作品の商標・意匠の出願登録をすることに同意するものとします。
- ・作品の著作権等について第三者からの異議や苦情等の申し立てがあった場合、その一切の責任は応募者が負うものとします。

## 11. その他

- ・応募をもって本募集要項の記載内容に同意したとみなします。
- ・受付通知や不採用通知はいたしません。審査過程のお問い合わせにも対応できません。
- ・応募者の個人情報は、作品審査および結果発表の目的にのみ利用し、応募者の許可なく第三者に開示・提供しません。
- ・応募に要する費用は応募者の負担とします。
- ・応募いただいたデータや資料等は返却しません。
- ・応募作品の元データは審査決定後にご提出いただくことがありますので、審査終了まで保管してください。
- ・応募用紙の記載内容に虚偽や誤りがあった場合、応募を無効とする場合があります。
- ・採用された作品の作成の趣旨説明は公開いたします。
- ・グループで応募する場合、応募作品の制作に関わった方全員が、本要項を承諾の上、全員の氏名を添えて応募するものとします。応募時に記載したメンバー以外の方が創作に関わったことや、メンバーの一部が募集要項に承諾していないことが判明したときは、応募を無効とすることがあります。
- ・採用されたロゴデザインは、大阪大学、人文学研究科、外国語学部、日本語日本文化教育センター、国際教育交流センター、ワニ博士等の各ロゴデザインと同時に使用することもあります。

<参考>各機関のロゴデザイン例

大阪大学



人文学研究科



外国語学部



## 12. 問い合わせ

複言語・複文化共存社会研究センター 教育・研究部門

電子メールアドレス:derc-ed@derc.hmt.osaka-u.ac.jp

ウェブサイト:<https://derc.hmt.osaka-u.ac.jp/>